



シルバーだより

No. 350
令和元年 12月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 令和元年の終わりに良い未来を祈念して —

俳句教室講師 田中 京

今年もあとひと月足らずで暮れようとしています。毎年師走の忙しさの中で、1年を振り返るのもこの時期のことです。私事になりますが、今年、令和元年は忘れられない年となりました。

この夏、私はほんの一瞬の不注意で躓いて足の小指の下の踵骨を折り、ギブスを嵌められ松葉杖で歩くことになってしまいました。それからの日々は何をするのも不自由で、無為の日々を過ごし、世の中の人の親切が身に沁みました。

例えば車椅子用のトイレのない建物では、夫が女性用のトイレの中まで付き添えないため、私が一人で車椅子を上手く操れず困っていると、さっと押して下さる方がいたり、整形外科で松葉杖で扉に向かっている時、待合室に座っている人がさっと立って開けて下さるといふ具合なのです。そんな時私は丁寧にお礼を言い、自分に問いました。私は今までこんな風に周りの困っている人に気付き、さっと手を貸すことができていたかしらと。このように松葉杖や車椅子を使うようになって初めて見えてきたことがいろいろあったのです。



今まで学んできたことに中に、コミュニケーションで大切なことを、ボールのやり取りを例に挙げて、自分が良いボールを投げれば相手も良いボールを返せるが、悪いボールを投げたら悪いボールが返ってくるから、いつも良いボールを相手に投げるよう心掛けなさい、というのがありました。でも、今年の足のけがで私は、さらに自分の周りへの気付きと想像力を働かせることの大切さを学びました。周りに助けを必要としている人がいたら、自分がどんなことができるかと思いを巡らせられるようになりたいと思いました。

そしてもう一つ今度の経験で学んだことは、いつまでも若いつもりでいても体は確実に老化しているから、年齢相応の自覚が必要だということです。こんな当たり前のことにも気付かず走り続けて来たので、立ち止まってゆっくり考える良い機会になりました。人生の晩年に差し掛かって来て、物事が何でも思い通りに行くわけではない事を十分理解しました。体力の衰えに加え、物覚えの悪さも痛感し、年を取る事への不安が増しました。

でも、そんなことで下を向いてはいられません。私達に続く世代の人達のために、世の中が少しでも良い方向に向かうよう祈念し、微力でも自分達にできることを見つけていかなければと思うのです。まずは自分の周りの人に良いボールを投げることから始めるのはどうでしょうか。

《《 9月合同講義 「ピアノと朗読のコラボレーション」を聴いて 》》

講師 朗読教室 池田洋子・器楽教室 三枝三枝子

「ことばとメロディを花束にして」と題したプログラムは、三枝先生のやさしく美しいピアノ演奏で、米津玄師作詞作曲の「Lemon」から始まり、会場の皆さんと一緒に「森の水車」「少年時代」を先生のピアノに合わせて元気な声で合唱しました。

池田先生の朗読は、前半が宇野千代作の「悲劇」と志賀直哉作の「転生」で後半は大川悦生作の「おかあさんの木」の3作品でした。先生からは、それぞれの作品の紹介や作家の生涯、私生活でのエピソードなどの楽しいお話を交え、作品ごとの情景豊かで迫力のある朗読に感動いたしました。

また、岩手弁の語りの「おかあさんの木」は、親しみやすく朗読の技法の奥深さを感じました。朗読は映像のない世界であっても、先生の朗読によって聴く人の心の中にその情景が描き出され、その世界に自然と心が引き込まれました。



三枝先生のピアノは始まりと終わりの米津玄師の「Lemon」の他に、ショパン作曲「ノクターン作品9-2」とベートーヴェン作曲「エリーゼのために」の合わせて3曲の演奏でした。ピアノの音色のやさしさ、美しさに心が癒されると共に、時には力強く、時には穏やかな優しい音色は感動的で時の経つのも忘れてしまいました。また、演奏の間の曲の紹介等素敵なお話も楽しむことができました。

お二人の先生の美しいピアノの音色と朗読との息の合った素敵なお話は、ここでしか体験することができない夢のような心地よい楽しいひとときでした。まさに、思い出に残る素晴らしいことばとメロディの花束は、お二人の先生からの素敵な贈り物でした。
(朗読教室 富永 教)

《《 「長寿慶祝の会」に参加して 》》

9月16日の敬老の日に荒川区では、「長寿慶祝の会」の式典がサンパール荒川大ホールにて3回に分けて開催されました。(満75歳以上の方へ招待状が配られました)荒川区の100歳以上の高齢者は9月16日現在、100名(男性10名、女性90名)。全国では、7万1238名おられるとのことでした。

当日は雨の中にもかかわらず、車椅子等で家族と共に大勢の方が参加され、西川区長やご来賓の方々からご祝辞を頂き、関係箇所からはお祝いの言葉やメッセージが寄せられました。その中で、高齢者の生きがいや健康づくりのために活動している団体として「荒川シルバー大学」も紹介されました。私は学生の一人として誇らしく思うと同時に、区民の皆さんに荒川シルバー大学をもっと知ってもらふ工夫が必要ではないかと感じました。



荒川区在住の神山兄弟による津軽三味線演奏を聞き、お祝いの品として、社会福祉法人「トラムあらかわ」、障害者施設「かがやき」の方々の心のこもったお菓子を頂いて帰宅しました。
(広報部 高山 順子)

今月も学園祭に参加した教室の講師の方からのメッセージを掲載致します。

●写真教室 戸叶 恒夫

・年度はじめに、教室の年間予定と年2回の作品展(学園祭・自主展)の確認をします。学生は毎月の撮影会や個人旅行の中から候補作品を準備します。一点を選ぶこと、タイトルを考えることには苦勞するようです。

・学園祭の準備は、教室代表を中心に有志の協力でレイアウト・台紙の用意・前日準備・展示・片付けとスムーズに作業を進めています。

・8年目を迎えた写真教室です。これからも「ここを見て下さい」を気にしながら、撮影を楽しんでほしいと思います。



●水墨画教室 結城 秀翠

描く物によっては毎回仕上がりにません。8月は休講ですので、全員にお声を掛けて3,4人のグループに分け、のべ50時間位掛けて助言し仕上げました。お教室では人数も多いため余りお話も出来ませんので、お互いに心を開いて和気藹々と楽しい時間を共有しました。一日にして成らずです。積み重ね、継続は力なり、継続する事が上達の秘訣かと存じます。最近では皆、ぼかし・白ぬき等にとっても興味を持ち、少しずつ上達していてこれから益々楽しみです。

●水彩画・絵手紙B教室 遠藤 光胡 〈長い付き合い—学園祭〉

振り返って、多くの生徒が入学して絵筆を握り、まさに少年少女に逆戻りしたように熱中する姿に接し、何としても一日でも早い上達を使命と覚えて邁進してきました。令和元年を迎え、その思いに伝えてくれた学園祭。素晴らしいの一言に尽きる3日間でした。来年も、又その次の年も・・・学園祭バンザイ！！

●料理教室 立川 禮子

料理教室は料理を作って食べるのが活動の内容なので、展示には工夫が必要です。料理を毎回写真に撮って、おいしそうに撮れたのを選んでそのレシピを資料として作成しようと相談して決めました。限られた予算でおいしい物を作るには、会計系の助言も必要。助手、教室代表の考えとパソコンを活用した展示も効果が大きく、パソコン教室で腕を磨いている大島るり子助手によって、昨年より効果的な展示ができたと言っていました。

●自然と小さな旅教室 箭内 忠義 〈苔玉と寄植え〉

季節はなによりもやさしい道しるべ。紅葉が山々を赤やオレンジ色に染め始めている10月。ここシルバー大学学園祭の会場でも苔玉や寄植えの紅・橙・黄・緑の草木が自己の存在を勝ち誇るかのように主張しています。あたかも幽玄な山の奥深くに分け入った気持ちを抱きます。自然と小さな旅では毎年苔玉と寄植えを作っています。上手下手は関係ありません。一つひとつに癒されるのです。

●パステル・絵の具画教室 永井 克巳

パステルは、指一本で擦るだけで、グラデーションが簡単に表現できますが、それを効果的に画面に表現することは難しいのです。やはり、何回も経験を積まないと通った通りにはなりません。学生さん達は、その難しい課題に悩みながら積極的に製作に取り組んでくれました。学園祭でその成果が現れることを期待しています。

●折り紙・絵本教室 石崎 恵子

今年も折り紙の色紙作品を出品しました。体調不良でお休みのお二人を除き、32名全員が挑戦し、見事な作品を仕上げました。

昨年までの作品をスライドにして皆で見合い、イメージを広げながら、各自あれこれ取り組む作品を考えました。花が中心ですが、そうでない独創性の高い作品、立体の作品もありました。班長さんを中心に励まし合う姿が感動的でした。名札に、各自の想いを一言添えました。見て頂けたでしょうか。出来栄えだけでない感動がもうひとつ広がりました。

●陶芸教室 羽二生 みどり

10月の学園祭に向けて、学生さん達は7月から作品づくりを始めていました。夏の暑い日も窯場の開放日には集まり、作陶をしている人、釉薬を掛けている人、窯を焚いている人と小さな窯場に人があふれていました。時には作り方を教え合ったり釉を何にしたらいいか話したりとみんな協力的でした。学園祭では、日々の作陶の成果をご覧頂きました。最終日の陶芸チャリティーも無事に終了しました。来年に向け今から作陶に励んでいます。

お詫び 11月号の「シルバーだより」で、写真教室助手の先生のお名前が間違っておりました。正しくは、小野田淳二先生です。お詫びして訂正致します。
(広報部長 水越)

◆◆◆◆ 11月の学園日誌 ◆◆◆◆

6日	常任理事会・役員会 (学園祭反省他年度末交歓会の件)	20日	区報掲載申込書作成 会員募集…1/21 掲載予定 学芸会…2/21 掲載予定
6日	令和2年度年間講義日程 センターへ申請	28日	シルバーだより 350号作成
19日	広報委員会	29日	令和元年度支払調書作成 講師依頼書作成

※ 事務局だより ※

1. 講師会について

日時:12月17日(火) 午後1時～ 会場:大会議室

2. 12月の変更教室について

パソコンⅠ・Ⅱ教室は12/17(火)から12/10(火)に変更となります。
英語教室は12/6(金)と12/13日(金)となります。



※年末年始の「事務所のお休み」は12/27(金)～1/5(日)となります。

新年また元気で会いましょう。

(事務所) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

(メールアドレス) arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp

(ホームページアドレス) arakawa-silver.com/

室長・田原